

明治大学国際総合研究所
大規模自然災害時の SCM に関する情報ネットワークの脆弱性とその対策
(第 4 回研究会)

<開催要領>

日時：2013 年 11 月 14 日（木）14:00～16:00

場所：明治大学グローバルフロント 1 7F C6 会議室

出席者：全 1 8 名

<議事>

- 1) 開会挨拶
- 2) 【講演 1】企業のリスク管理としての情報セキュリティ ～大成建設の事例から～
(講師) 大成建設株式会社 社長室情報企画部 北村達也様
- 3) 【講演 2】情報セキュリティ投資の費用対効果に対する先行研究の紹介
(講師) 島根県立大学 総合政策学部 総合政策学科 金野和弘准教授
- 4) 閉会挨拶

<議事概要>

- 1) 開催挨拶：明治大学 中西教授より
- 2) 【講演 1】
 - ・ 建設業は情報産業であり、指示書・図面・設計書などへ変更が生じた際のネットワークによる情報共有が重要。また、情報セキュリティの観点からは、情報が誰に渡っているか、その広がりを「見える化」することも重要である。
 - ・ 協力会社にはパソコン診断サイトによる診断レポートを発行し、チェック&フォローする。PC 利用者に情報セキュリティを意識させることもできる。
 - ・ 最強の情報セキュリティ インフラとは「ルール」と「体制」の整備。
 - ・ 情報管理関連規定については、実施ガイドラインは柔軟な対応が可能。重大インシデント対応は CSIRT サービスの事後対応、事前と品質管理は平時の対応体制。
 - ・ 講演後、情報機器の資産管理、上層部の理解への対応、ワンタイムパスワードなどに対する質疑応答を受けた。
- 3) 【講演 2】
 - ・ 当該研究は、情報セキュリティ投資の意思決定のための情報収集への寄与として考え、主な先行研究である B-J モデルと J0 モデルを分析し検証することで、2 モデルの統合可能性を探る。
 - ・ 2 モデルの統合可能性としては、J0 モデルで各セキュリティ手段ごとの想定損害額（セキュリティ手段の価値）を算出し、セキュリティ手段ごとのコストを推定し、B-J モデルを用いて情報セキュリティ投資の妥当性を判断する。
 - ・ 講演後、今後の検証について活発な意見が飛び交わされた。
- 4) 閉会挨拶：明治大学 中西教授より